

2021年3月期 第2四半期決算の概要

2020年11月5日

みずほリース株式会社

MIZUHO

2020年度第2四半期の総括

- 新型コロナウイルス蔓延の影響を受けた厳しい事業環境のなか、お客様のニーズを捉えた営業活動により、差引利益はほぼ横ばいで推移
- 各段階利益は、通期予想に対して順調に進捗
 - － 営業外収益で持分法による投資利益が増加、特別利益で投資有価証券売却益を計上

(億円)	18年度 上期	19年度 上期	20年度 上期	増減額	増減率	20年度 通期予想*	進捗率
売上高	1,798	2,549	2,287	▲262	▲10%	5,000	46%
差引利益	250	289	284	▲5	▲2%	-	-
営業利益	111	126	112	▲14	▲11%	208	54%
経常利益	130	129	146	+17	+13%	236	62%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	86	89	130	+41	+47%	180	72%

*2020年5月14日公表

決算概要

(億円)	18年度 上期	19年度 上期	20年度 上期	増減額	増減率	
売上高	1,798	2,549	2,287	▲262	▲10%	不動産ブリッジ案件の満了に伴う売却が前年同期に重なったため、減少
差引利益	250	289	284	▲5	▲2%	リース収益は増加するがフィー収益等の減少により、ほぼ横ばいで推移
資金原価	(41)	(50)	(42)	▲8	▲16%	外貨調達金利の低下により、資金原価は減少
売上総利益	209	240	242	+2	+1%	
信用コスト	▲4	▲5	6	+11	-	小口引当が発生、信用コストは低水準
営業利益	111	126	112	▲14	▲11%	
営業外収益	24	8	44	+36	-	持分法による投資利益が増加
経常利益	130	129	146	+17	+13%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	86	89	130	+41	+47%	特別利益で投資有価証券売却益を計上

差引利益率	2.79%	2.86%	2.60%	▲0.26pt	-	フィー収益等の減少、並びに、第2四半期末での営業資産残高の大幅増加により、差引利益率は低下
-------	-------	-------	-------	---------	---	---

(注) 差引利益率 = 差引利益 (年換算値) ÷ 営業資産 (期首期末平均残高)

(億円)	19/3末	20/3末	20/9末	増減額	増減率
営業資産残高	20,214	20,903	22,762	+1,859	+9%
純資産	1,822	1,958	2,032	+74	+4%
自己資本比率	8.0%	7.9%	7.6%	▲0.3pt	-

事業の状況

(億円)	18年度 上期	19年度 上期	20年度 上期	増減額	増減率
契約実行高	7,950	6,242	6,850	+608	+10%
リース・割賦	2,699	3,242	3,451	+209	+6%
ファイナンス	5,226	3,000	3,399	+399	+13%
その他	26	-	-	-	-

- 契約実行高は前年同期比10%増加
 - リースは情報通信機器、不動産が牽引し、新型コロナウイルスの影響による他機種での減少を打ち返し
 - ファイナンスは商流ファイナンスが増加

(億円)	19/3末	20/3末	20/9末	増減額	増減率
営業資産残高	20,214	20,903	22,762	+1,859	+9%
リース・割賦	13,061	14,674	15,893	+1,219	+8%
ファイナンス	7,090	6,229	6,868	+639	+10%
その他	63	-	-	-	-

- 営業資産残高はリース・割賦、ファイナンス共に前年度末比増加

契約実行高／リース・割賦セグメント

機種別契約実行高

(億円)	18年度 上期	19年度 上期	20年度 上期	増減額	増減率	
産業・工作機械	606	873	617	▲256	▲29%	前年同期に大口案件を実行
情報通信機器	450	652	1,175	+523	+80%	通信・インターネット事業者の設備投資、資金ニーズを捉え、大幅増加
輸送用機器	287	385	200	▲185	▲48%	航空機オペレーティングリースの取り組みを抑制
土木建設機械	195	178	152	▲26	▲15%	
医療機器	77	104	52	▲52	▲50%	中国での取り組みを抑制
商業・サービス業用機器	198	146	131	▲15	▲11%	
事務用機器	41	51	23	▲28	▲56%	
その他	846	852	1,101	+249	+29%	
うち不動産	733	690	888	+198	+29%	引き続きブリッジ案件が中心
合計	2,699	3,242	3,451	+209	+6%	

契約実行高／ファイナンスセグメント

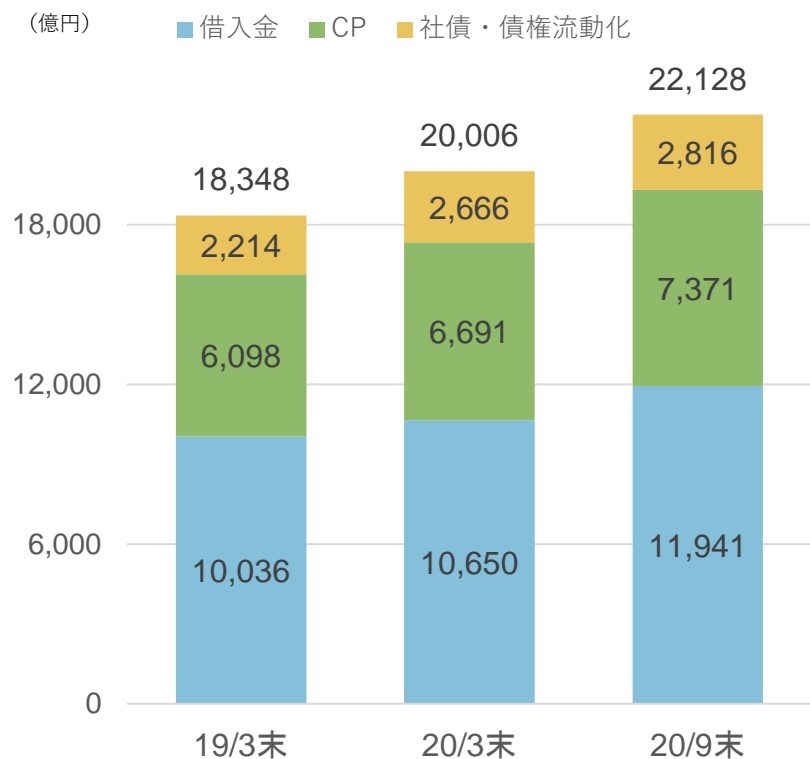
契約実行高

(億円)	18年度 上期	19年度 上期	20年度 上期	増減額	増減率	
商流ファイナンス・ 融資等	4,463	2,549	3,032	+483	+19%	短期の商流ファイナンスが増加
航空機	64	80	30	▲50	▲63%	
不動産	600	262	268	+6	+2%	
船舶	98	109	69	▲40	▲37%	
合計	5,226	3,000	3,399	+399	+13%	

資金調達等の状況

- 機動的な資金調達手段の拡充のため、連結でのCP発行限度額を7,000億円から8,000億円に拡大
- 外貨調達金利の低下により、資金原価は減少し、資金原価率も低下

有利子負債残高



資金原価（率）

(億円)

	18年度 上期	19年度 上期	20年度 上期
資金原価	41	50	42
資金原価率	0.46%	0.49%	0.38%

(注) 資金原価率 = 資金原価 (年換算値) ÷ 営業資産 (期首期末平均残高)

外部格付の状況

格付機関	格付	
R&I	長期	A
	短期	a-1
JCR	長期	A+
	短期	-

業績予想及び配当

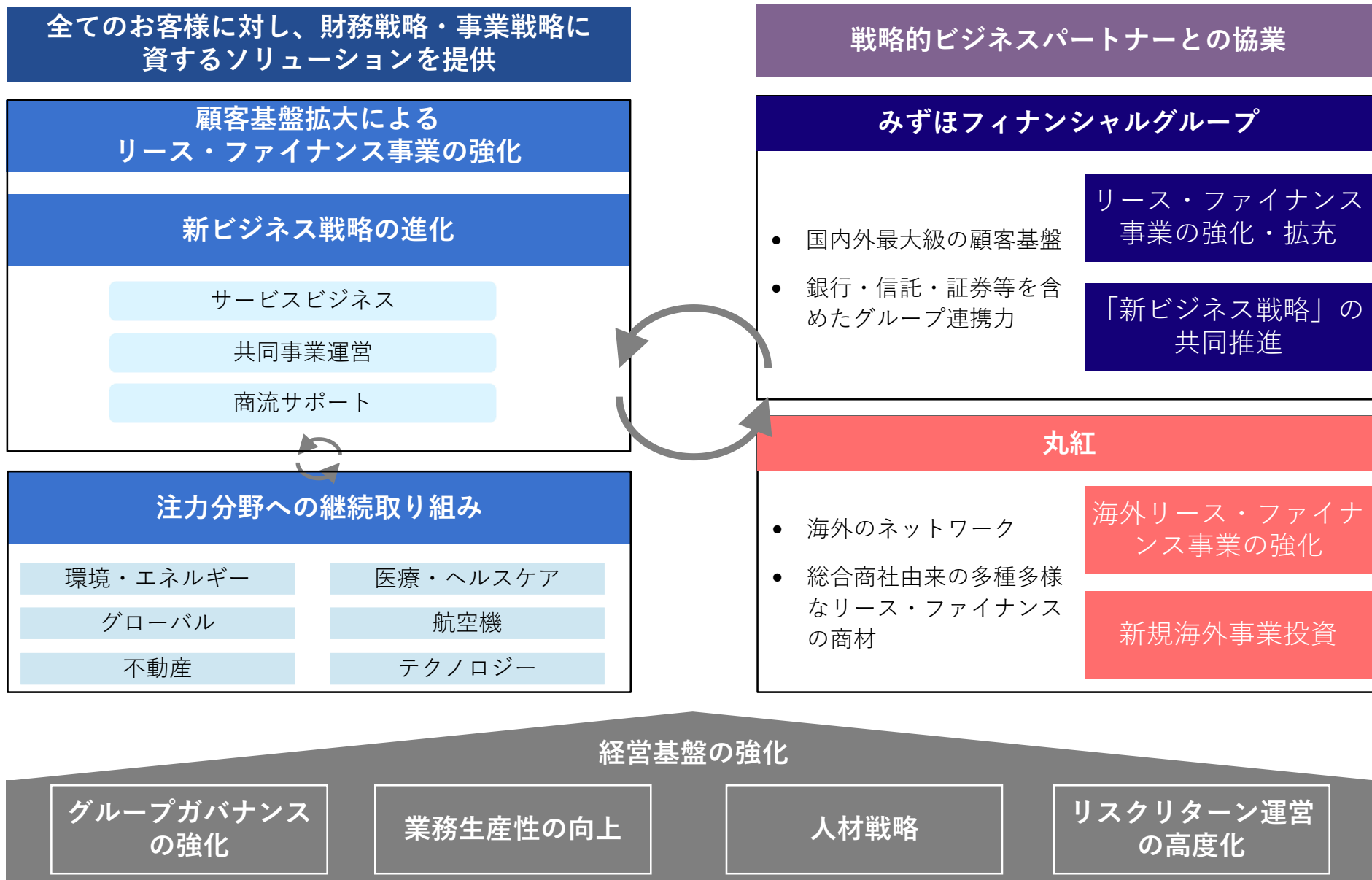
- 各段階利益は通期予想に対して順調に進捗
 - 先行きについて新型コロナウイルスの影響は不透明感が残り、引き続き注視
- 中間配当金は期初予想通り40円の配当を実施。年間配当金は84円を予定

(億円)	2019年度 (実績) ①	2020年度 (予想) ②		増減額 ②-①	増減率 ②/①
		上期実績	進捗率		
売上高	5,392	5,000	2,287	46%	▲392 ▲7%
営業利益	263	208	112	54%	▲55 ▲21%
経常利益	267	236	146	62%	▲31 ▲12%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	175	180	130	72%	+5 +3%
増減額					
年間配当金	(※) 82円	84円	+2円		
中間配当金	(※) 40円	(実績) 40円	±0円		
期末配当金	42円	(予想) 44円	+2円		
配当性向	22.7%	22.6%	▲0.1pt		

(※) 創立50周年記念配当2円を含む

決算補足資料

第6次中期経営計画（2019～2023年度）の概要



第6次中期経営計画（2019～2023年度）の最終年度の連結数値目標

親会社株主に帰属
する当期純利益

300億円

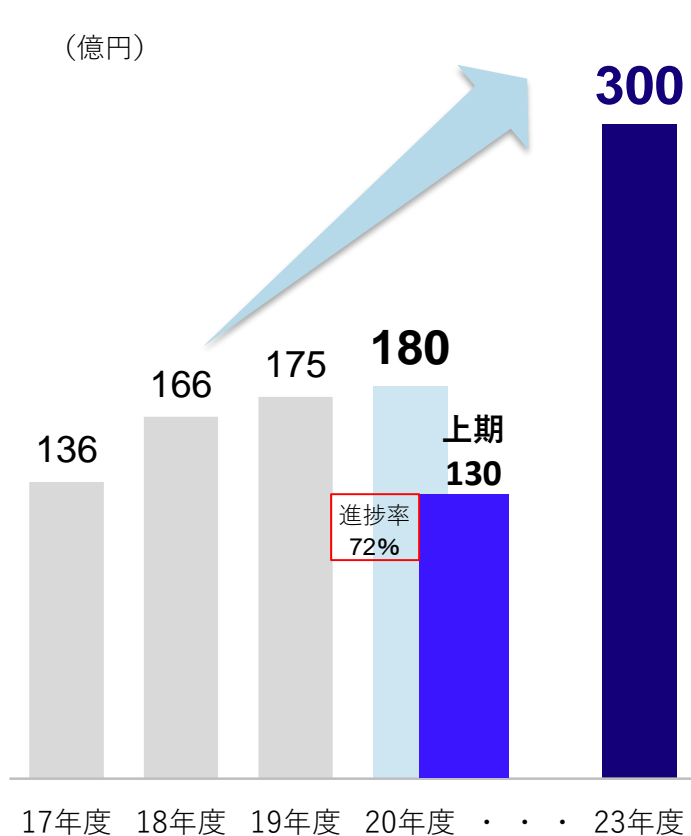
グローバル分野
の残高

2019年3月末比
3倍

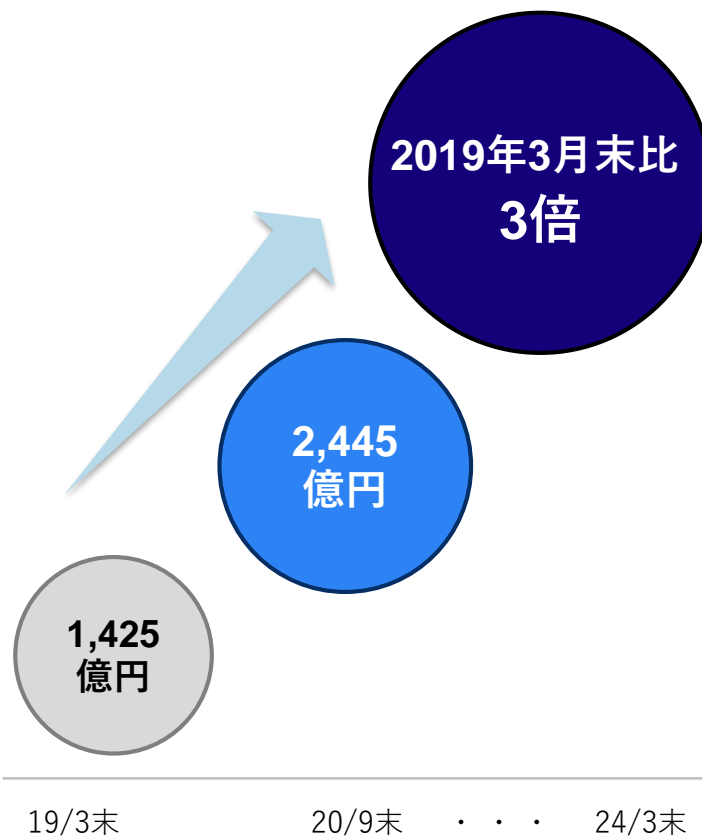
配当
性向

25%以上を
目指す

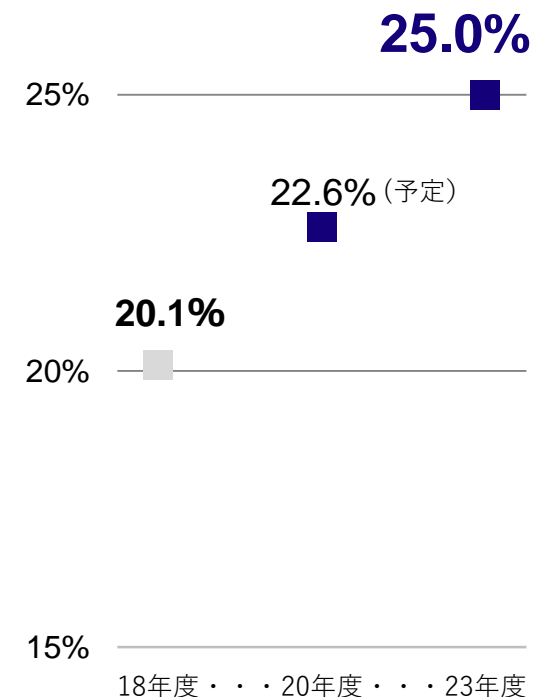
(億円)



20年度上期実績 130億円
(通期予想 180億円)



20年9月末残高 2,445億円



20年度配当性向
22.6%(予定)

お問い合わせ先

みずほリース株式会社

経営企画部

コーポレートコミュニケーション室

TEL:03-5253-6540

FAX:03-5253-6539

本資料には現時点で入手している情報に基づき当社が判断した将来の予測数値が含まれておりますが、一定のリスクや不確実性が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
将来に関する事項については様々な要因により変動することがございますので、ご留意下さい。

MIZUHO